

当施設を第二の我が家のように気楽に使って頂くことが  
私達の使命の達成につながるでしょう！

私達の老健は、中間施設であり、居宅療養支援施設です。

前月にも同様なお話を致しましたが、これは言い方を換えると、虚弱化した高齢者にとってはリピーター即ち入所退所の繰り返しがあり、行き着く先には看取り対応もありうるということです。

中間施設というのは、必要があれば病院から居宅へ・居宅から病院への橋渡し役です。居宅介護者への長期・短期のレスパイト支援役でもあります。そして高齢者の残された体の機能での自立を支援する生活リハビリの場でもあります。さらに慢性期の医療看護の場でもあります。これが私達が社会から託された使命です。

そのためには、利用者ご本人にとっては自宅に準じるような安心感が必要ですし、ご家族にとっては何時でも利用できるという気楽さが必要でしょう。

そして居宅療養支援とはご家族も介護に参加をするということです。

私達はすでにケアプランの中にはご家族にも一緒に参加して頂く項目も入っております。

利用者ご本人やご家族の安心感・気楽さとは、当一羊館を利用者さんにとっての「第二の我が家」にして頂くような気持ちを持つことです。それが私達が社会から期待されているセーフティネットの使命を推進することになります。

その気持ちをスタッフ一同みんなで共有しましょう。

言うなれば“第二の我が家”作戦の推進です。